

令和4年2月19日（土）10：00～

レンガ坂改修工事説明会

次第

1. 開会
2. 挨拶
3. レンガ坂改修工事における整備方針の一部変更について
4. 質疑応答
5. 閉会

以上

配布資料一覧

資料1 - レンガ坂工事における整備方針の一部変更について

資料2 - レンガ坂の改修計画について（令和3年12月11日に実施した説明会資料 当初改修内容）

多摩センター地区

レンガ坂（市道5-35号歩線）工事における
整備方針の一部変更について

令和4年2月

多摩市 都市整備部 道路交通課

多摩センター地区
レンガ坂（市道5-35号歩線）工事における整備方針の一部変更について

目次

レンガ坂の概要	レンガ坂（市道5-35号歩線）の位置	2
	レンガ坂（市道5-35号歩線）の概要	3
問題点と改修方針	現状の問題点	4
	改修の方針	12
	問題点等への対応策	13
改修方針の変更経緯	● 方針1	14
	● 方針2	18
	● 方針3	20
	● 方針4	20
改修計画（イメージ）	改修計画（イメージ）	23
今後の予定など	今後の予定	25

レンガ坂（市道5-35号歩線）の位置

レンガ坂
■ 延長：368m
■ 幅員：15m



多摩センター地区 レンガ坂（市道5-35号歩線）工事における整備方針の一部変更について

レンガ坂（市道5-35号歩線）の概要

レンガ坂は、

多摩中央公園と商業施設に挟まれた、鉄道駅を中心とした商業業務施設と住宅地を結ぶ、ユリノキがある直線坂による良好な景観を有する自転車歩行者専用道路です。

フリーマーケット等のイベントも行われています。

今後の、レンガ坂北側角地に図書館が新設され、さらに利用者の向上が見込まれる道路となっています。

幅員	15m（通行部4.0m、植栽帯5.5m両側）
断面	勾配6%
舗装	炉器質レンガタイル
植栽	ユリノキ
動線	全長にわたって緊急車、管理用車が通行
街路灯	29基（LED）



現状の問題点

整備後30年が経過し、老朽化も含め、現状では以下のような問題や利用者の声が上がっています。



交錯

2018年の調査より、約9割弱の方が歩行者と自転車の交錯経験があると回答しています。



スピード

坂のため、自転車がスピードを出しやすく、歩行者にとってとても危険です。



滑る

レンガ舗装のため、雨が降ると特に滑りやすくなります。



倒木

ユリノキの大木化や一部生育不良により、台風で倒木する被害が出ています。



イベントも可能な休憩空間の確保

2018年調査で、約7割の方が「休憩場所があるとよい」と回答しています。また、イベント利用への配慮も求められています。

台風による倒木被害（2019年9月）



参考 レンガ坂環境改善に関する社会実験（2018年）

レンガ坂の舗装の老朽化等に伴う改修工事に向けて、レンガ坂の様々な問題解決を図るための社会実験を実施し、利用者の方の声を調査しました。

実施日 2018年11月4日（日）

- 内容**
- ①歩行者道と自転車道の分離社会実験
 - ②座り場の環境改善に向けた社会実験
 - ③アンケート・インタビュー調査



①歩車分離実験



②座り場の実験



③アンケート

参考

オープンハウス（パネル展示・事業説明会）の実施①（2020年）

実施概要

レンガ坂の改修整備に向け、レンガ坂の現状に関する市民意見を伺うとともに、改修方針や改修内容、更新する樹木の樹種等に関し、幅広く伺った。

実施日：2020年10月24日（土）

時間：10:00～16:00

場所：レンガ坂上広場

実施内容

1) 相談ブースでの対応

- ・利用者のレンガ坂改修整備に関する意見や質問への受付対応

2) 樹木イメージアンケート（A1パネル1枚）

- ・A1パネルへのイメージアンケートの実施

3) 利用者インタビュー調査

- ・利用者へのインタビュー調査を実施

多摩センター地区レンガ坂 改修整備のお知らせ

1. レンガ坂について
レンガ坂は、多摩中央公園の西側に位置し、鉄道駅を中心とした商業・業務施設と住宅地の中間地であるため、歩行者だけでなく自転車利用者も多し歩行者専用道路です。また、スリッパと露筋状の坂により良好な景観を創出しています。フリーマーケット等のイベントも行われています。

2. 現状の問題点
整備後20年が経過し、老朽化も進め、現状では以下のような課題や利用者の声が上がっています。
交錯、スピード、滑る、倒木、イベントも可能な休憩空間の確保

3. 改修方針
上記の問題点を解決すべく、3つの改修方針を定めています。
方針1 歩行者の安全性を確保するため、歩行者道と自転車道を分離します。
方針2 大木化し倒木の危険のある樹木を更新します。
方針3 歩きやすい舗装や、イベントにも対応した休憩空間を確保します。

2020年 社会実験
多摩センター地区 レンガ坂環境改善調査
レンガ坂の周辺の現状を踏まえ、歩行者専用道路に隣接し、レンガ坂の様々な問題点を解消するための社会実験を実施し、利用者の声を聴き取ります。
■内容 ①歩行者専用道路の分離計画策定 ②歩行者専用道路に向けた社会実験 ③アンケート・インタビュー調査
■日時 2020年11月4日（日）

お問い合わせ先 多摩市新市整備部道路交通課 TEL:042-338-4858

オープンハウス 10月24日（土）10:00～16:00
レンガ坂の現状について、改修方針や内容について説明し、市民の意見を伺います。

開催：10月24日（土）10:00～16:00
会場：レンガ坂上広場

↑当日展示した「レンガ坂改修整備のお知らせ」パネル

参考

オープンハウス（パネル展示・事業説明会）の実施②（2020年）

調査結果

10月24日（土）の相談窓口及びインタビュー調査において、計72人（ペアやグループも1人とカウント）の方より意見を伺った。

主な市民の声

- ①舗装の滑りやすさ及びでこぼこ
- ②自転車の交錯の解消
- ③自転車のスピード抑制
- ④樹木の倒木の不安
- ⑤休憩施設の不足
- ⑥イベント等への対応が不十分
- ⑦現状の景観（緑やレンガ）のイメージの継承
- ⑧夜間が暗い



↑ 相談ブースでの対応の様子



↑ 樹木イメージアンケートの様子

参考

樹木イメージパネルアンケートの実施（2020年）

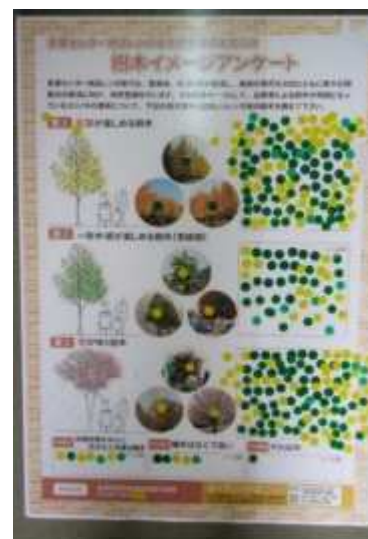
樹木イメージアンケート結果

更新が必要なユリノキに変わって、どのようなイメージの樹木がよいか、パネルアンケートを実施。

実施期間：10月1日（木）～11月2日（月）

設置場所：・ココリア多摩センター3階 ドコモショップ横
・クロスガーデン多摩2階 タカハシ付近

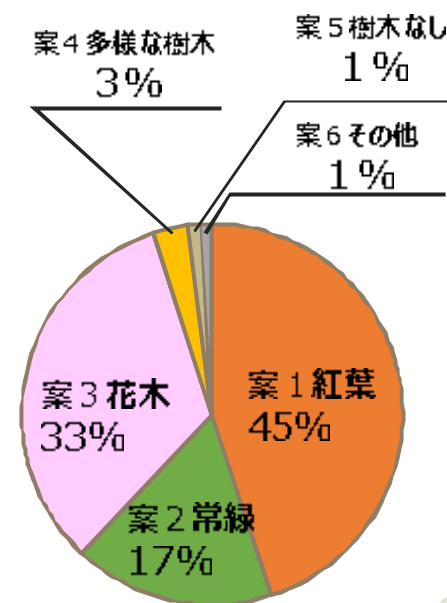
※上記に加え、オープンハウス時にも実施



実施結果（5つのパネルで計973の回答）

- ・実施結果は、比較的様々な意見があることが伺えたが、最も多い意見は、**「案1：紅葉が楽しめる樹木」**（428回答）が約**45%**で全体の約半数を占めた。
- ・次いで、**「案3：花木が楽しめる樹木」**（325回答）が約**33%**を占めている。

パネル	案1 紅葉	案2 常緑	案3 花木	案4 多様な 樹木	案5 樹木 なし	案6 その他	計
クロスガーデン①	125	53	118	7	5	1	309
クロスガーデン②	77	38	53	14	2	2	186
クロスガーデン③	75	41	80	7	4	1	208
ココリア	44	12	33	4	1	0	94
オープンハウス	107	25	41	1	1	1	176
計	428	169	325	33	13	5	973



参考

工事説明会の実施（令和3年10月2日）

■実施概要

利用者の安全・安心な空間を確保するため、樹木の更新を行い、遊歩道を拡げる工事を令和3～4年度に行うことから、工事着手に先立ち周辺市民等を対象に説明会を行いました。

実施日：令和3年10月2日（土）

時間：10：00～12：00

場所：リンクフォレスト

参加人数：26名



↑当日の説明会の様子

■いただいた主な意見

- ・台風で倒木しているのを見ているので、ぜひユリノキ伐採してほしい
- ・歩行者と自転車を分離することは賛成であるが、下りの自転車のスピード対策も必要ではないか
- ・レンガ坂上の広場の真ん中に計画されている滞留スペースはいらないのではないか
- ・工事中の想定する騒音や振動はどのようなものか
- ・街路灯は白色でなく色温度を考慮してほしい
- ・工事中の安全対策をしっかりとしてほしい
- ・ユリノキの伐採は賛成であるが、日影がなくなるので植える樹種や位置を考慮してほしい
- ・現状のレンガ坂に課題や問題点、またそれに対応する改修方針について理解できた
- ・既存のレンガ坂に配慮し、並木を2列配置にしてほしい
- ・説明会で市民意見は工事に変更要素として反映してもらえるのか
- ・多摩中央公園側の歩道2mは不要である
- ・縦断勾配は変更できないのか

参考

追加工事説明会の実施（令和3年12月11日）

■実施概要

利用者の安全・安心な空間を確保するため、樹木の更新を行い、遊歩道を拡げる工事を行うにあたり、令和3年10月2日に工事説明会を開催しました。しかし、工事説明会後もお問合せ等数多く頂いていることから、より丁寧な説明を行うため、追加で工事説明会を開催しました。

実施日：令和3年12月11日（土）

時間：10：00～13：00

場所：リンクフォレスト

参加人数：47名

■10月2日に行った説明会から変更点

- ・工事に影響が少ない8本のユリノキを残す。
（強剪定や支柱は必要）
- ・レガシー広場として一部、既存の照明灯やレンガタイルを残す。（再現する）
- ・広場の形状について、工事期間中に実験を行い設置の有無を含めて検討する。

■いただいた主な意見

- ・歩行者と自転車を分離する必要はない
- ・ユリノキを残してほしい、木陰が必要である
- ・広場の真ん中の形状は不要である
- ・改修後の舗装材には反対である
- ・現在のタイルは特注であり、今後はさらに維持管理面で困難である
- ・ユリノキは根が張れない環境である。今後を見据えて更新すべき
- ・自転車のスピード抑制として、ランプやスラロームを検討してはどうか
- ・利用者のルール作りが必要である
（マナー、モラルを含め）
- ・説明会での市民意見は工事に変更要素として反映してもらえるのか
- ・車いすの利用を考えると凸凹していて利用しづらい、バリアフリーを考慮してほしい



↑当日の説明会の様子

改修の方針

当初

方針 1 歩行者の安全性を確保するため、歩行者道と自転車道を分離します。

歩行者道と自転車道の分離



歩行者道と自転車道の分離



空間の中央部に自転車道を配置し、公園や商業施設側に歩行者道を配置することで、歩行者と自転車の交錯を軽減させる空間に改修します。

※優先ゾーンの設置。広場の中央部をロータリー形状にすることで、滞留する人や通行する利用する人（自転車）の安全な空間、導線を確保。

方針 2 大木化し倒木の危険のある樹木を更新します。

大木化や老木化により、倒木の危険がある樹木を更新し、新たな緑の空間に改修します。

※現在ある街路樹はすべて伐採し、新たな樹種に植え替える。

方針 3 歩きやすい舗装や、イベントにも対応した休憩空間を確保します。

雨の日などの歩きやすさへの配慮や、単に通過する動線だけでなく、座ってくつろげる休憩空間やフリーマーケットなどのイベントにも対応可能な設備を備えた空間に改修します。

変更後

方針 1-1 利用者の安全性を確保するため、幅を広げます。



利用者の安全を図るため、通行空間を拡幅します。また多摩中央公園の改修と連携を図ります。

→現在のレンガ坂がもつ景観に配慮し、優先ゾーンの設置や広場中央部のロータリー形状は今回の工事では設置しません。

方針 1-2 使い方やルールは市民の皆さんと一緒に考えていきます。

自転車の通行ルールを含めたレンガ坂の使い方について、市民のみなさんと一緒に考えていきます。また、今後社会実験等も行っています。

方針 2 一部のユリノキを倒木対策を行い新たな樹木と混在した緑の空間にします。

倒木対策（高さを低くし、支柱を設置）を行い、現在のユリノキを一部残し、新たな樹木と混在させます。

方針 3 歩きやすい舗装や、イベントにも対応した休憩空間を確保します。

舗装材料の色については、現在のレンガタイル舗装の趣を取り入れます

方針 4 広場の一部に地域のレガシーを残します。**New!!**
(既存のユリノキ、街路灯、レンガタイル)

現在のレンガ坂を形成していた街路灯、レンガタイルの一部を地域のレガシーとして広場の中に設置します。

変更なし

問題点等への対応策

主な市民の声	改修計画での対応策
①舗装の滑りやすさ及びでこぼこ	再整備により解消
②自転車の交錯の解消	自転車道・歩行者道の分離
③自転車のスピード抑制	レンガ坂上段のスピード抑制対応、 交差点の明確化
④樹木の倒木の不安	樹木の更新
⑤休憩施設の不足	休憩スペース及び施設の増加
⑥イベント等への対応が不十分	イベントスペースや設備の確保
⑦現状の景観（緑やレンガ）の イメージの継承	舗装イメージの継承 紅葉が楽しめる樹木に更新 （アンケート結果より）
⑧夜間が暗い	照明の変更により対応

幅員を広げ、使い方は
市民の皆さんと決めて
いきます

▶ + 残す一部の樹木へ
倒木対策（剪定、支
柱の設置）を行う。

▶ + 一部ユリノキを残す。
地域のレガシーを残す。

改修の方針変更経緯

ハード整備

当初
方針 1 歩行者の安全性を確保するため、歩行者道と自転車道を分離します。

空間の中央部に自転車道を配置し、公園や商業施設側に歩行者道を配置することで、歩行者と自転車の交錯を軽減させる空間に改修します。

目的

自転車優先ゾーンの設置、広場の中央部をロータリー形状にすることで、滞留する人や通行利用する人（歩行者・自転車）の**安全な空間、導線の確保**を図ります。

ハード整備

変更後
方針 1-1 利用者の安全性を確保するため、幅を拡げます。

利用者の安全を図るため、通行空間を拡幅します。また多摩中央公園の改修と連携を図ります。

現在のレンガ坂がもつ景観に配慮し、優先ゾーンの設置や広場中央部のロータリー形状は今回の工事では設置しません。

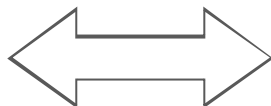
レンガ坂という名称や愛着・思いを数多く頂きました。

ソフト整備

方針 1-2 使い方やルールは市民の皆さんと一緒に考えていきます。

自転車の通行ルールを含めたレンガ坂の使い方について、市民のみなさんと一緒に考えていきます。また、今後社会実験等も行っていきます。

ハード整備による
安全な空間、導線の確保



ハード整備による
安全な空間の確保



ソフト整備による
安全な空間、導線の確保

改修1-歩行者・自転車への分離に対する意見

✓ 危ないので分離してほしい
(ぶつかりそうになった)

✓ 縦断勾配を変更してスピード対策してほしい

✓ 色分けだけでも通る場所が明確になることが必要である

✓ 広くしてぶつからないようにしてほしい

✓ マナーやモラルの問題

✓ 自転車の通行を禁止にしてほしい

自転車の交通方法は基本
①歩行者優先
②歩行者の脇を通行する場合は徐行
③自転車の進行が歩行者の通行を妨げることとなるときは、一時停止
④並進禁止など…

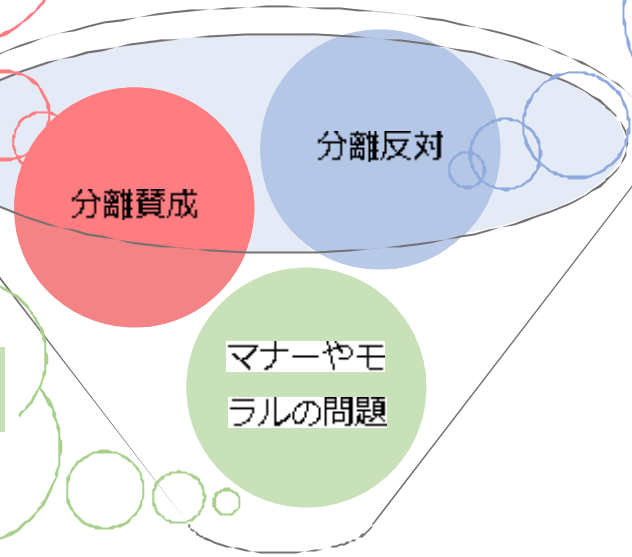
幅員を広げて、使い方を考える

ハード整備

方針 1-1 利用者の安全性を確保するため、幅を拡げます。

ソフト整備

方針 1-2 使い方やルールは市民の皆さんと一緒に考えていきます。



✓ 広場の真ん中はひろいほうが良い

✓ 今の景観を変えないでほしい

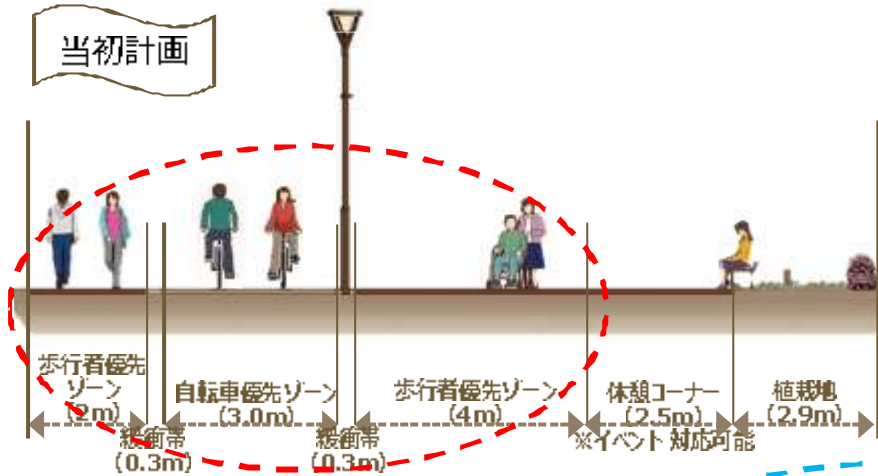
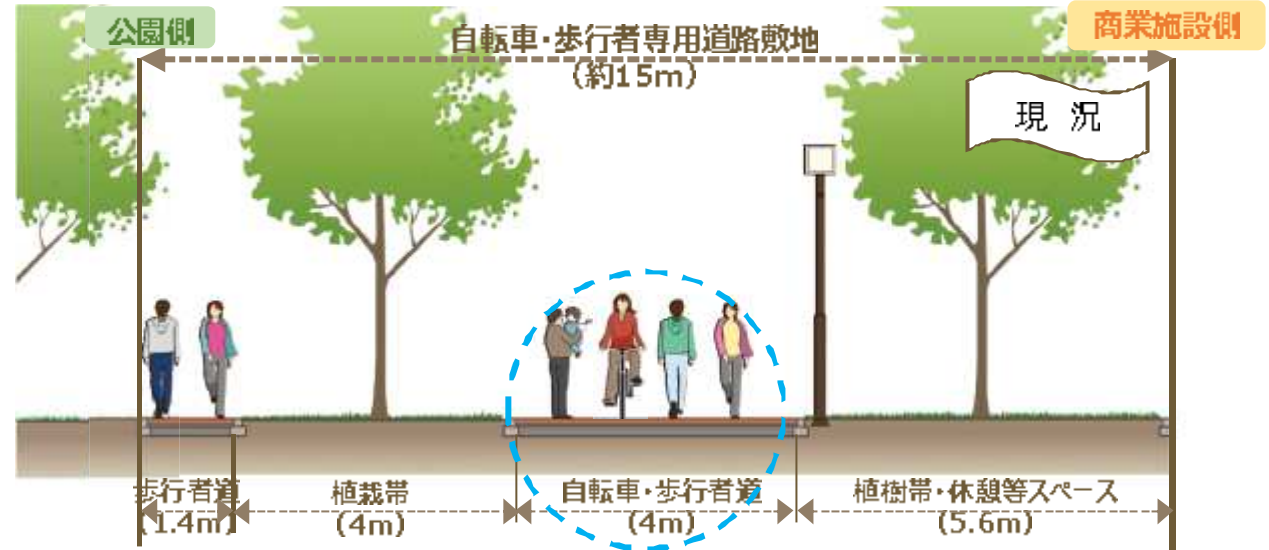
✓ 分離することで自転車のスピードがさらに上がるから、わけないほうが良い

✓ 広くするだけで自転車はよけながら走行できるから分離は必要ない

✓ 分離するのであれば物理的な整備がないと無意味（色分けだけでは意味がない）

✓ 広場の中央に座ることはない。座る場所は端である。

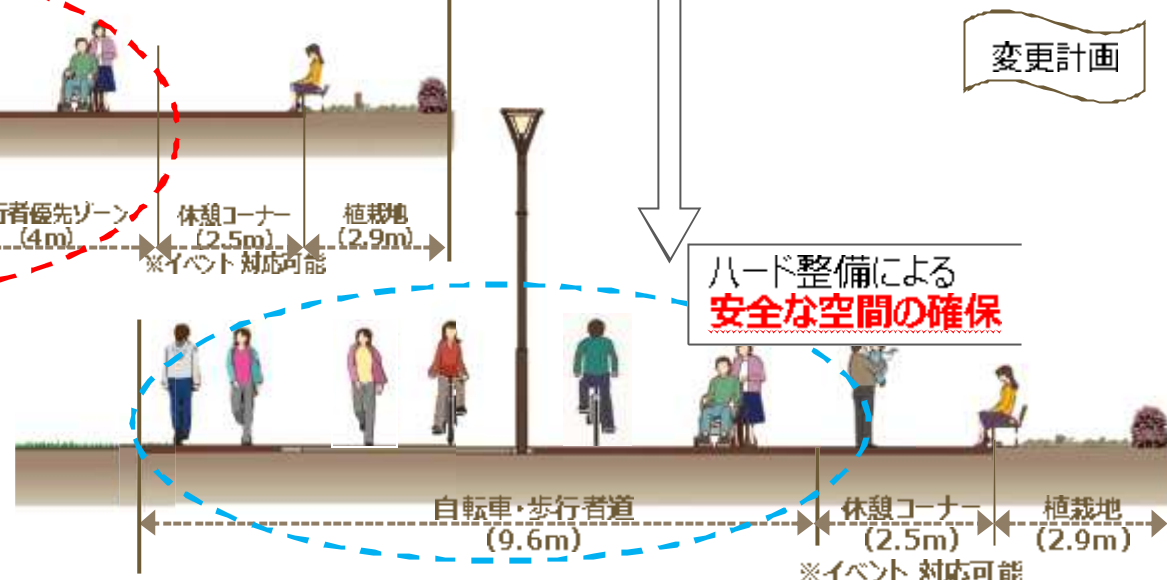
断面図



ハード整備による
安全な空間、導線の確保

方針 1-1 利用者の安全性を確保するため、幅を拡げます。

ハード整備



ハード整備による
安全な空間の確保

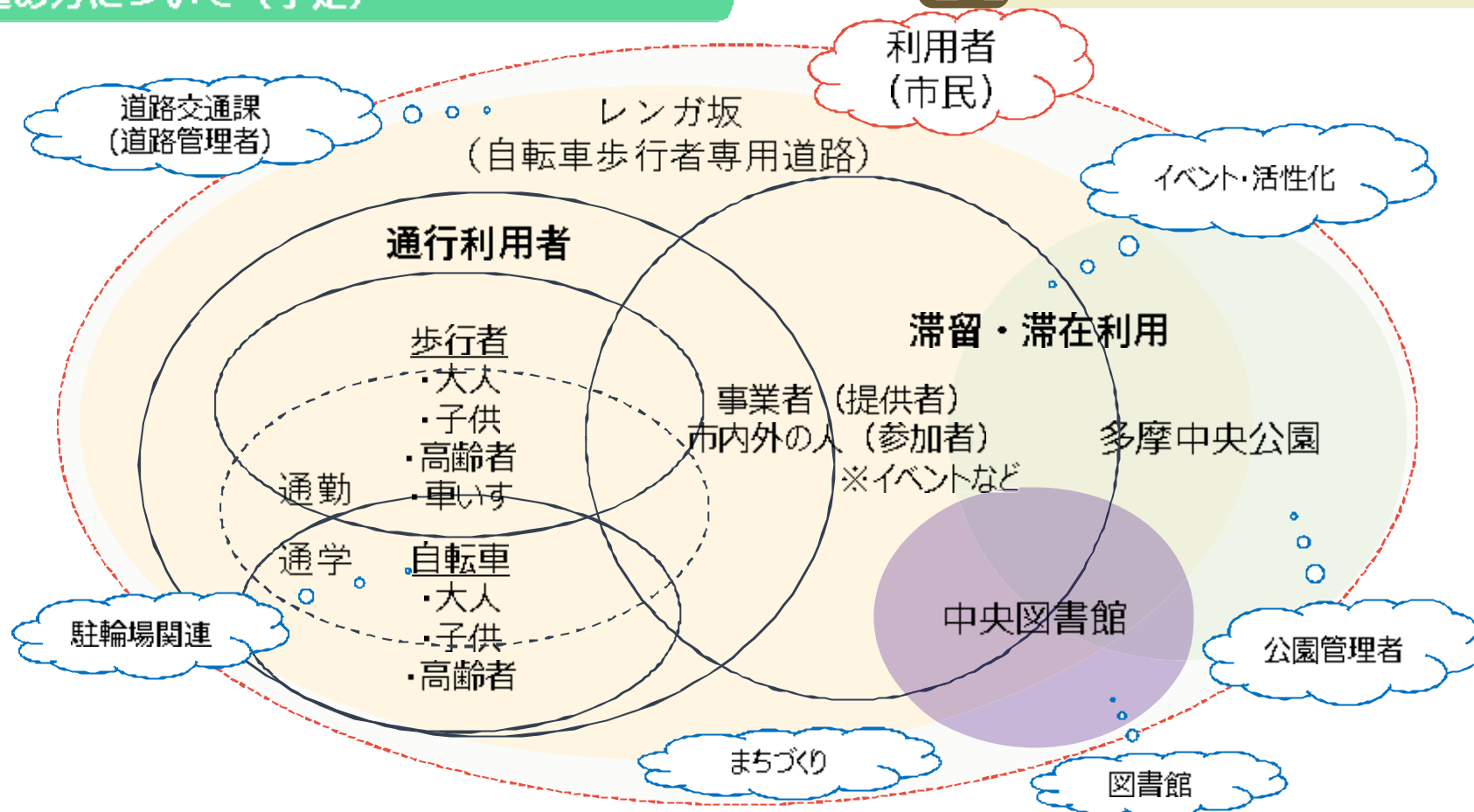
多摩センター地区 レンガ坂 (市道5-35号歩線) 工事における整備方針の一部変更について

レンガ坂の歩き方・使い方（ルール作り）の
進め方について（予定）

ソフト整備

方針
1-2

使い方やルールは市民の皆さんと
一緒に考えていきます。



今後の取り組み (予定)

- 使われ方の把握・調査 **市**
- ・市民へのアンケート
 - ・事業者へのヒアリング
 - ・日常の利用方法調査
 - ・どのように使いたいか・・・etc

使い方のイメージ **市+市民**
市と市民で、求める使い方
(ルール作り等) のイメージを
共有

R5年度
レンガ坂工事完了
社会実験の実施

使い方に基づいた仮運
用の開始
(実験の継続)

改修の方針変更経緯

当初

方針 2 大木化し倒木の危険のある樹木を
更新します。

大木化や老木化により、倒木の危険がある樹木を更新し、新たな緑の空間に改修します。

目的

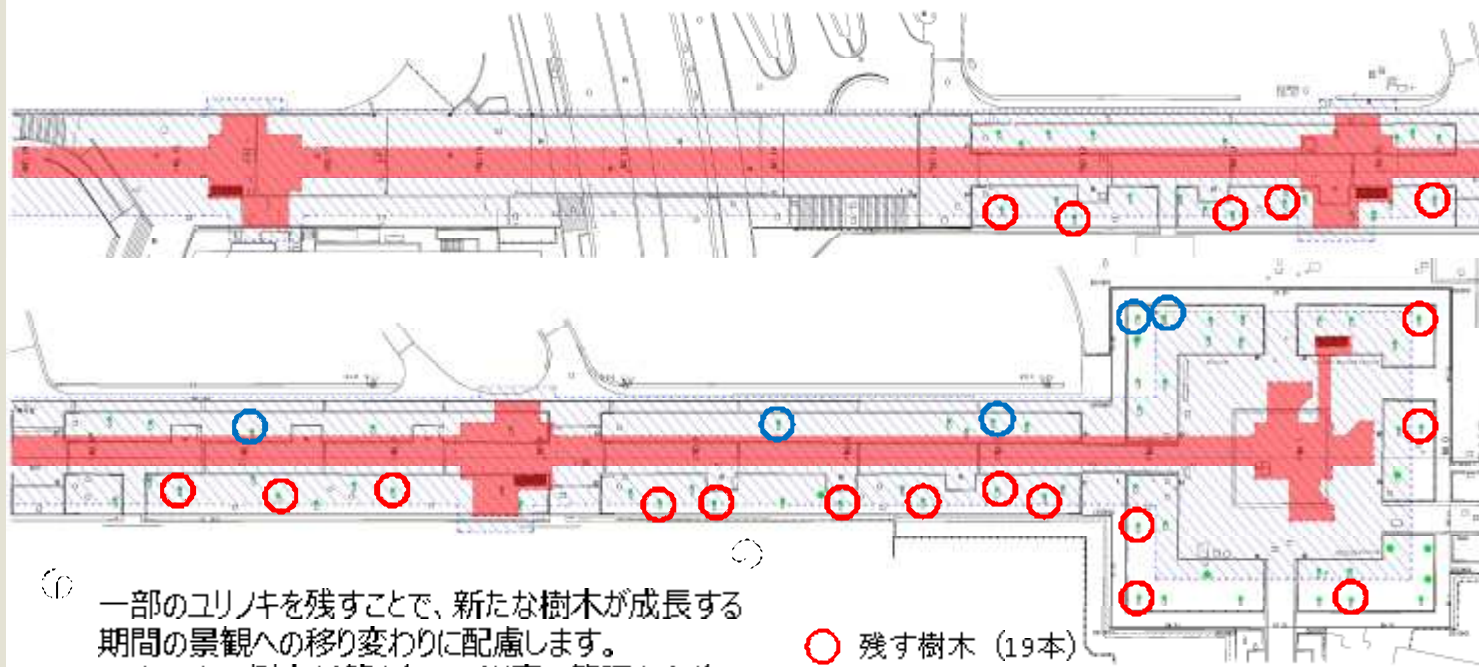
倒木の危険があるため、現在ある街路樹はすべて伐採し、新たな樹種に植え替える。

変更後

方針 2 一部のユリノキを倒木対策を行い
新たな樹木と混在した緑の空間にします。

倒木対策（高さを低くし、支柱を設置）を行い、現在のユリノキを一部残し、新たな樹木と混在させます。

「ユリノキ」への愛着・思いを数多く頂きました。

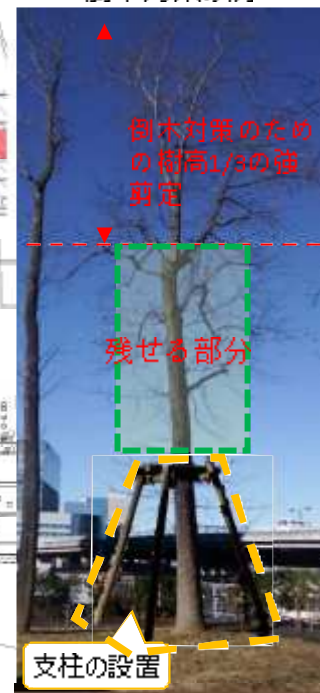


一部のユリノキを残すことで、新たな樹木が成長する期間の景観への移り変わりに配慮します。工事中で倒木対策を行い、樹高の管理を今後の維持管理において行います。

○ 残す樹木 (19本)

○ 公園の改修と一体的に考えていく樹木 (5本)

倒木対策の例



倒木対策のための樹高1/3の切り定

残せる部分

支柱の設置

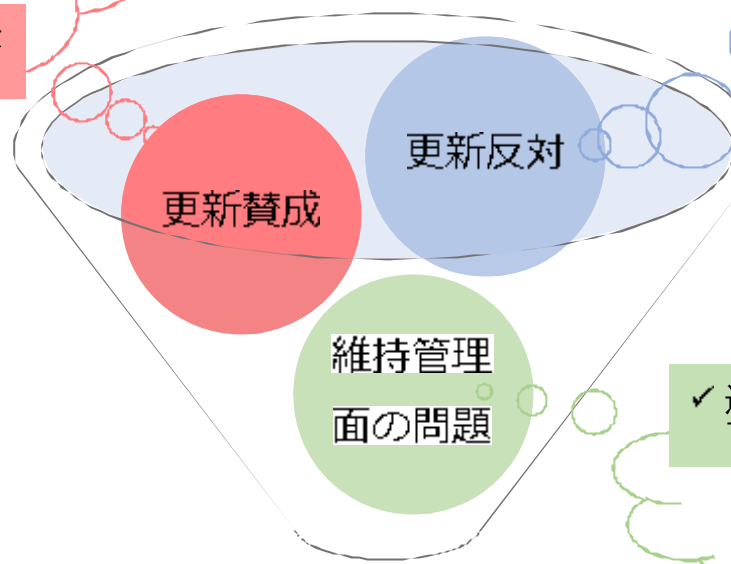
※実際とは異なる場合があります

改修2-ユリノキの更新（伐採、新たな樹木へ植替え）に対する意見

✓ 倒木しているのをみているので伐採してほしい

✓ 根が浅い危険な状態とは知らなかった

✓ 新たな植栽計画による景観が楽しみ



✓ 今の景観を変えないでほしい

✓ 日影がなくなる、木陰が必要

✓ 並木を形成しているから意味がある

✓ ユリノキと一緒に過ごしてきたので愛着がある

✓ 台風の際は出歩かないから倒木しても問題ない

✓ 適切な維持管理ができていないのが問題だ

✓ 大きくしすぎる前に手入れしてほしい

倒木対策（樹高を低くし支柱を設置）をし、ユリノキを一部残します。

重心を低くする



補助機能の追加



安全の確保

※根が浅く、地盤が固い

方針
2

一部のユリノキを倒木対策を行い
新たな樹木と混在した緑の空間にします。

改修の方針変更経緯

当初

方針 3 歩きやすい舗装や、イベントにも対応した休憩空間を確保します。

雨の日などの歩きやすさへの配慮や、単に通過する動線だけでなく、座ってくつろげる休憩空間やフリーマーケットなどのイベントにも対応可能な設備を備えた空間に改修します。



変更後

方針 3 歩きやすい舗装や、イベントにも対応した休憩空間を確保します。

舗装材料の色については、現在のレンガタイル舗装の趣を取り入れます。(2~3色の混在)

追加

方針 4 広場の一部に地域のレガシーを残します。
(既存のユリノキ、街路灯、レンガタイル)

現在のレンガ坂を形成していた街路灯、レンガタイルの一部を地域のレガシーとして広場の中に設置します。

New!!

「レンガ坂」を作り出している
タイルや街路灯への愛着・
思いを数多く頂きました。

現在のレンガ坂に使用しているタイルや街路灯は、多摩センター地区のまちなみに使われています。今後の維持管理を考えて、改修しますが、多摩センター地区のシンボルとしてバルテノン大通りのみ継承していく予定です。

改修3-舗装材料の変更に対する意見

✓ タイルは滑るのでかえてほしい

✓ タイルががたついたり、目地に足が引かかる

✓ 歩きやすい舗装にしてほしい（坂道なので）

✓ 雨の日はとくにすべる（転んだことがある）

✓ 特殊な材料で維持費がかかる

✓ 部分補修の対応が遅い

✓ 今の景観を変えないでほしい

✓ 滑らない工夫をすればいい

✓ 高級な素材で多摩センターとして統一された街並みを形成している

多摩センター地区のシンボルとして**バルテノン大通り**のみ継承していく予定です。

材料賛成

材料反対

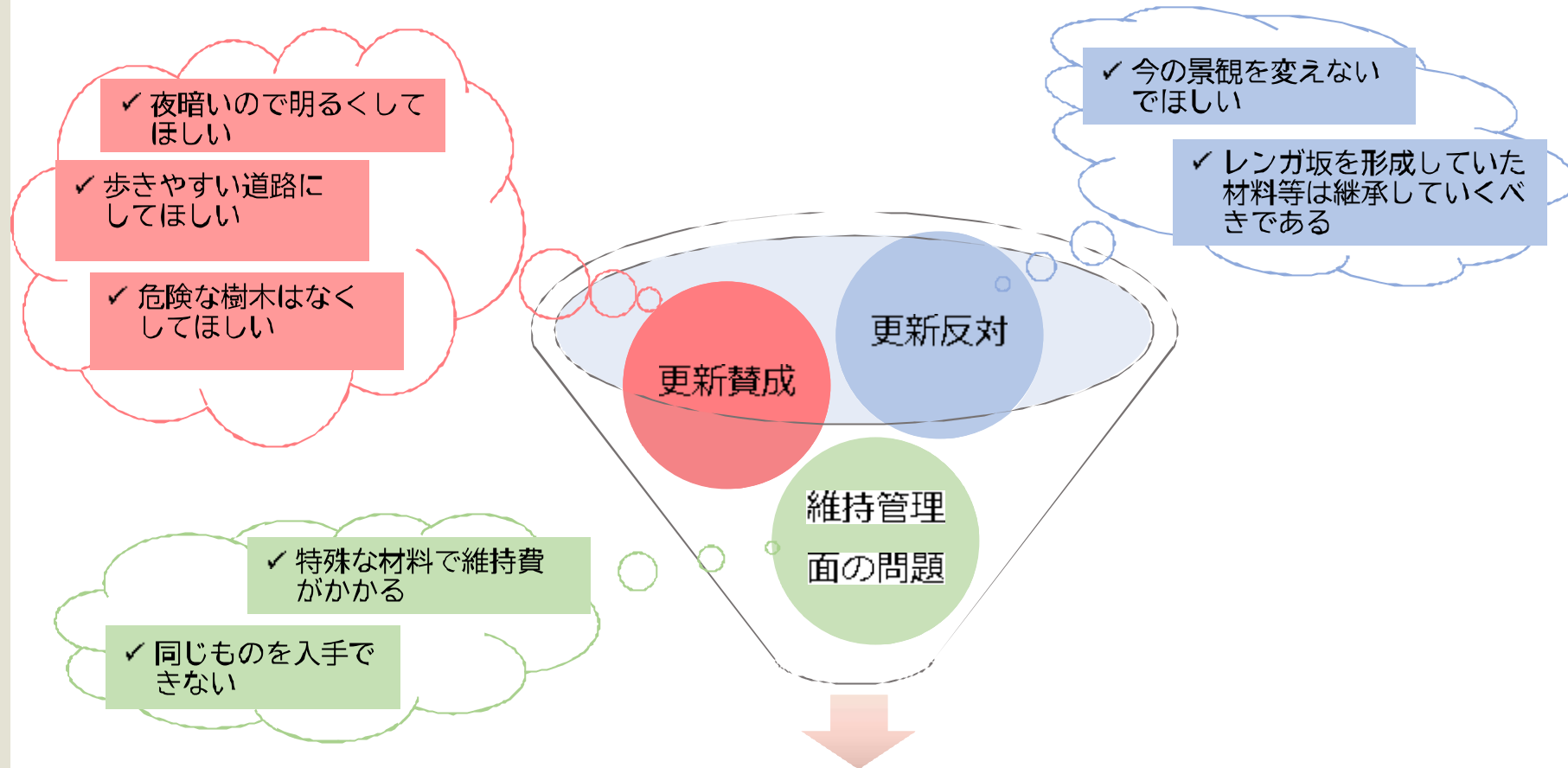
維持管理
面の問題

塗装材料を工夫し、既存のレンガタイルの趣を取り入れます



本施工の前に試験施工を現地におこないます。

改修4-既存のユリノキ、レンガタイル、街路灯に対する意見



広場の一部に、地域のレガシーとして一部の街路灯・レンガタイルを設置します



その他、補修材料として使用可能なものは保管します。

改修計画（イメージ）

当初整備イメージ



レンガ坂橋からレンガ坂方面みた様子

優先ゾーンの整備は今回の工事では行いませんが、使い方を一緒に作っていく事で安全な空間の確保を図っていきます。また、運用後、必要となる整備は引き続き行っていきます。

変更後整備イメージ

改修計画（イメージ）

当初整備イメージ



広場のロータリー形状としたベンチの設置は今回の工事では行いませんが、使い方を一緒に作っていく事で安全な空間の確保を図っていきます。また、運用後、必要となる整備は引き続き行っていきます。

変更後整備イメージ



レンガ坂上広場の様子

今後の予定

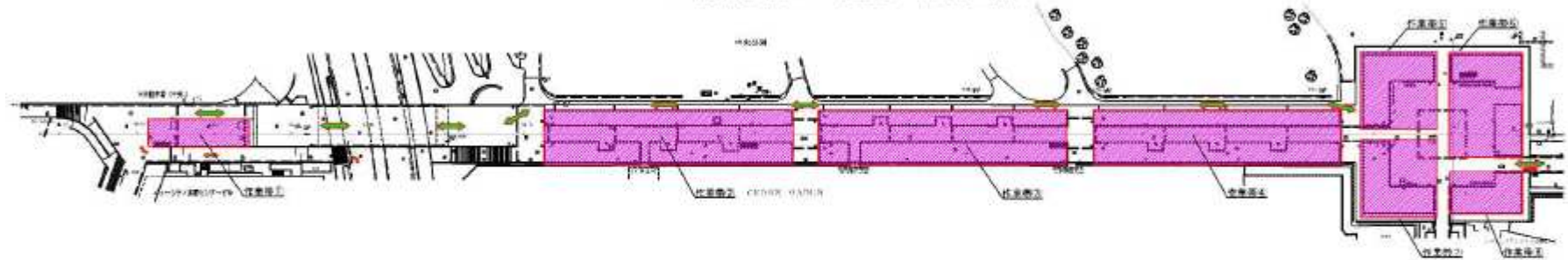
工事期間：R3年10月～R5年6月末を予定

(工事の予定)	令和3年			令和4年												令和5年						
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
仮設ヤード設置・撤去	■																					■
樹木伐採・植樹工事				■	■																	
舗装改良工事					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
舗装仕上げ工事																	■	■	■	■	■	■

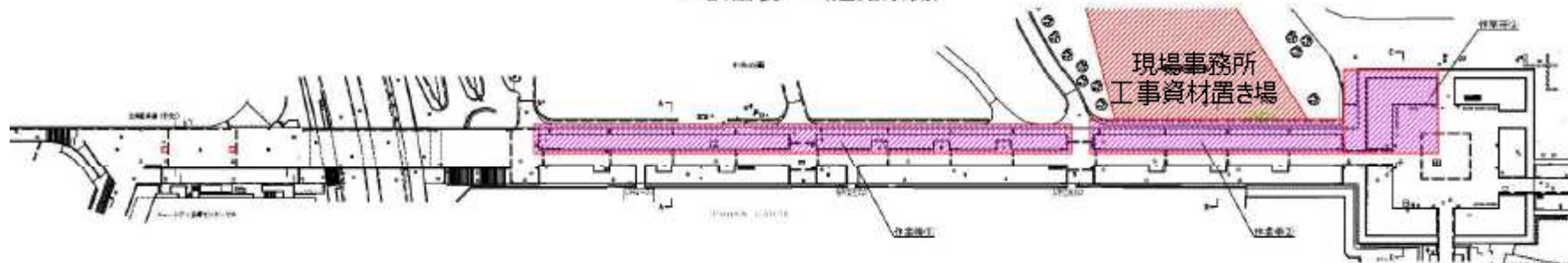
■ 工事ステップ図（準備工）

常設作業帯
日々撤去作業帯

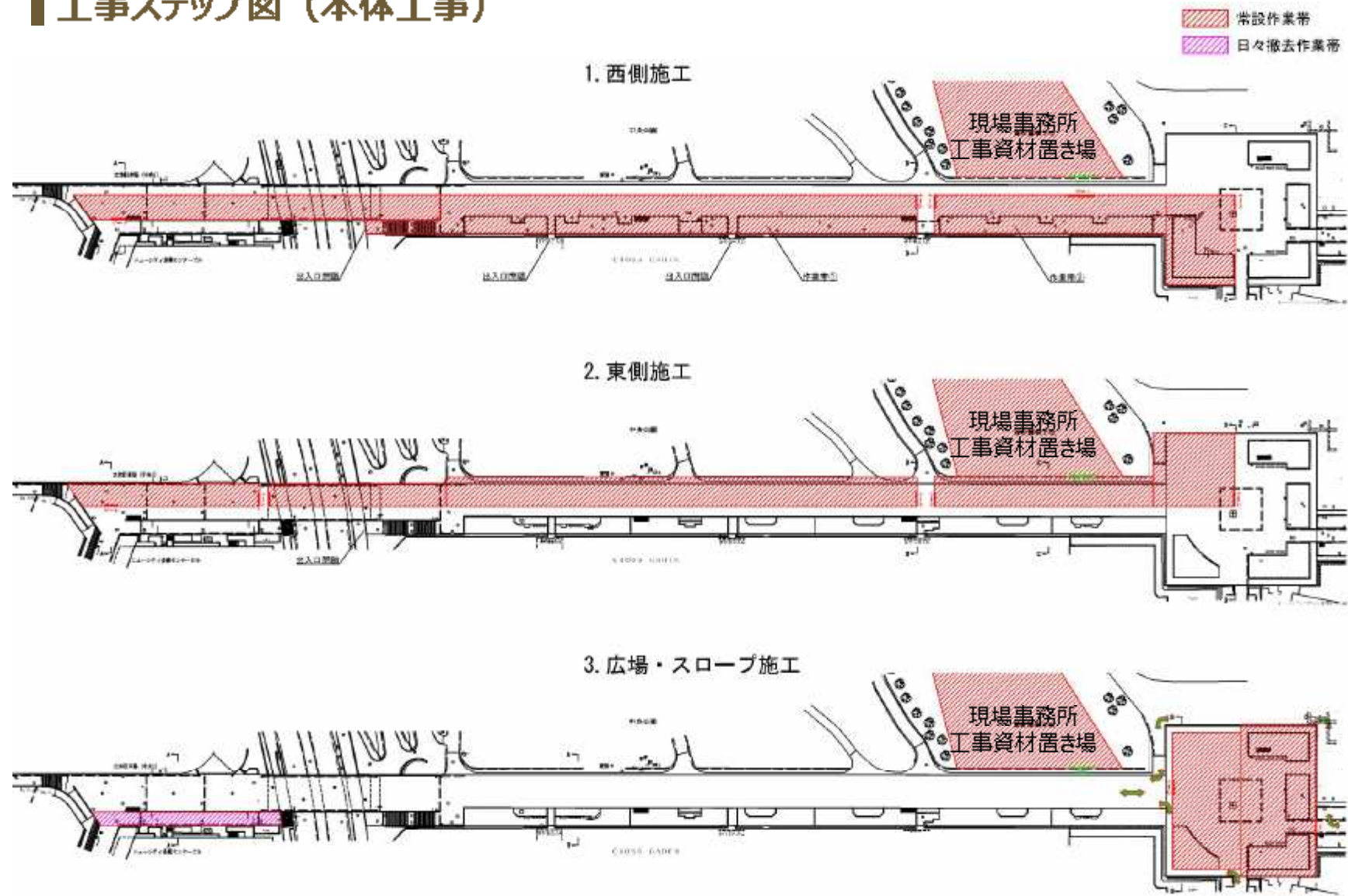
1. 樹木伐採工（通路～広場全体）



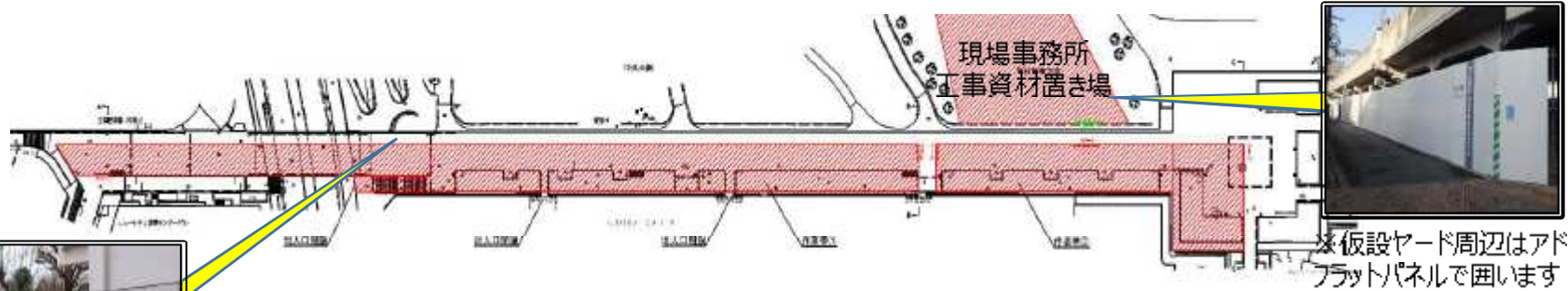
2. 仮舗装工（通路東側）



■ 工事ステップ図（本体工事）













■ 仮設時の様子



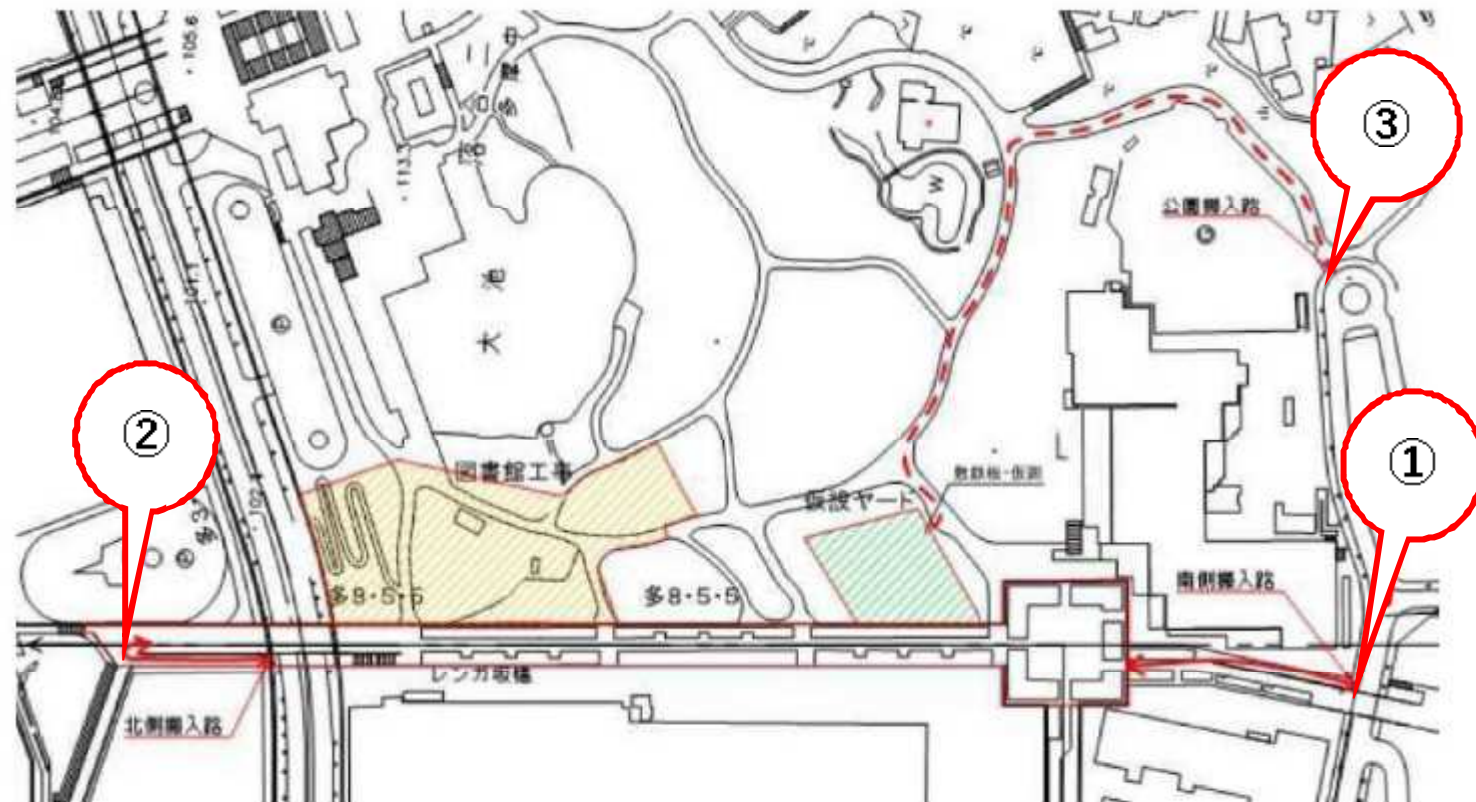
※作業箇所はH鋼にフェンス取付金具を取付け、フェンスを設置します。また、仮設の照明を設置します。

仮設ヤード周辺はアドフラットパネルで囲います

使用重機

 <p>0.2m級バックホウ</p>	 <p>振動ローラー</p>	 <p>マカダムローラー</p>	 <p>フィニッシャー</p>	<p>場内にて作業します。</p>		
				 <p>4tダンプ</p>	 <p>8tダンプ</p>	<p>主に、土砂や碎石運搬に使用します。</p>
		 <p>ミキサー車</p>	<p>工場で練った生コンを運搬します。</p>			
		 <p>ユニック車</p>	<p>資機材搬出入、小運搬に使用します。</p>			
				 <p>クレーン</p>	 <p>高所作業車</p>	<p>伐採作業に使用します。</p>

■ 工事車両の搬出入計画



搬入場所

車両搬出入場所は3箇所

- ①南側スロープ メインルート
- ②北側スロープ サブルート
- ③公園側搬入路 サブルート

- ・資機材搬出入の基本的なルートとしては南側スロープとし、8t車以下の車両を使用します。
- ・大型車両の搬入については公園側ルートとします。

※安全対策

工事用搬入時は、出入口及び通行路に誘導員を配置します。

公園内では最徐行するとともに、誘導員を配置し第三者の運行及び安全を最優先します。

多摩センター地区

レンガ坂（市道5-35号歩線）工事における
整備方針の一部変更について

**ご理解の程よろしくお願いいたします。
ご清聴ありがとうございました**

令和4年2月

多摩市 都市整備部 道路交通課